

進路だより

平成27年6月発行
岐阜本巣特別支援学校
進路支援部 第3号

小、中学部では運動会が、高等部では1年生の校内作業実習、2、3年生の就業体験が無事終わり、みんなそれぞれに次の活動に向けて頑張っています。



高等部1年校内作業実習

全体目標

高等部1年生1組～5組、自立1組～3組（1年生）は、6月15日～19日の5日間、6組は、17日までの3日間、ハンガーの組み立てやアルミホイルのリサイクル作業に「あいさつ・返事・報告・持続力」を全体目標とし、各個人の目標や課題を掲げて取り組みました。

授業の「作業学習」とは違い、慣れない作業を一日中することに不安を抱いていたと思いますが、初日から落ち着いた態度で、丁寧に作業に取り組む姿を見せてくれました。日を追うごとに作業効率も上がり、挨拶や報告も大きな声で言えるようになるなど、態度面も向上していきました。また、5日間体調を崩して学校を休む生徒がいなかったことは、ご家庭のご協力があったことですが、目標に向かって最後までやり通す気持ちを持ち続けた結果だと思っています。

5日間の実習で「働く」ことを実感し、自分の課題は「何か」を見つけてくれたことと思います。今回、実感した「働く」ことを卒業後の社会自立・参加に向けて学校生活に生かして欲しいと思います。



中学部校内作業実習参観

6月18日（木）に中学部3年1・2組と自立学級の生徒12人が、東体育館で行われた高等部1年生の校内作業実習を見学に行きました。高等部の先生の説明を聞いたり、真剣に作業をしている高等部の先輩の姿を見たりして、「来年は自分たちもこうやって働くんだ！」ということを実感することができました。下記に生徒の感想を載せます。

- ・一日立って作業していたことがすごいと思った。ハンガーの組立は簡単そうに見えたけど、やってみたら難しかったです。
- ・姿勢が良くて、静かに作業をしていました。すごいなあと思いました。私も今、クッキング班で立ったまま頑張っています。
- ・高等部の先輩はしっかり仕事をしていました。高等部になったら頑張ります。この見学で学んだことを、高等部に向けて日々の生活や作業学習に生かしていきたいです。

高等部2年就業体験

高等部2年生は、6月15日（月）から19日（金）まで就業体験を行いました。初めて、校外のそれぞれの事業所で一週間体験を行うということで、どの生徒からも不安や緊張が感じられましたが、無事一週間の就業体験を終えることができました。多くの生徒が、「指示をしっかりと聞いて仕事できました。」「一生懸命がんばりました。」と振り返っていました。それぞれの生徒の課題についても明確になってきましたので、次回の実習に向けて、これからの学校生活で取り組んでいきたいと思っています。

<生徒の感想>

- ・最後まで集中してやりきれました。商品を丁寧に扱いながら作りました。大変だったけど、楽しかったです。
- ・曜日ごとに違う仕事をやらせてもらい、学習することがいっぱいありました。職場の人に優しく教えてもらい、楽しくできました。この実習で学んだことや身につけたことを学校生活で生かせるように頑張ります。

進路希望調査 Q&A

前月号に引き続き、進路希望調査での質問にお答えいたします。

Q1 生活介護施設はどこも満員で在宅介護にならないか今から心配ですが、現状を知りたいです。

A 生活介護事業所は、定員いっぱいのところが多いのが現状です。しかし、利用者の方の移動があつて空きが出る場合や定員を少し増やされる事業所もあります。また、現在の事業所と別の地域に事業所を新設される話もありますので、利用を希望されるときは、タイミングによるかと思えます。新規事業所ができたときは、進路だよりで紹介していきます。

Q2 てんかんがあるため、医療的ケアの対応が必要になるので、どれくらいの進路先があるのか知りたいです。

A 医療的ケアの方の受入れ先は、お子様の状態が一人一人異なりますので、個別に確認しているのが現状です。地域にもよりますが、多いとはいえません。看護職員が常駐の事業所がありますので、参考にされるとよいと思います。(インターネット WAM NET (ワムネット) で検索していただくと、各事業所の看護職員の人数等が記載されています。)

医療的ケア対象の本校の卒業生の方々は、早めに、また就業体験前に確認し、対応していただける事業所を選択され、利用をされています。

進路情報 岐阜県特別支援学校の進路状況について (岐阜県教育委員会特別支援教育課からの情報：H27. 3. 31 現在)

I 平成 26 年度 特別支援学校中学部・高等部卒業生の進路状況

1) 中学部卒業生

全卒業生	188 人 (市立校含む)
高校進学	2 人
特別支援学校高等部進学	183 人
専修学校等進学	0 人
就職	1 人
福祉施設	1 人
在宅	1 人

年度	高校・高等部進学率
平成 21 年度	99.3%
平成 22 年度	98.8%
平成 23 年度	97.7%
平成 24 年度	96.6%
平成 25 年度	99.5%
平成 26 年度	98.4%

2) 高等部卒業生

全卒業生	393 人 (市立校含む)
大学進学	5 人
特別支援学校専攻科進学	2 人
専修学校・職業訓練校等進学	7 人
一般就職	134 人
福祉施設	240 人
在宅	5 人

年度	福祉施設	一般就職
平成 21 年度	55.2%	34.7%
平成 22 年度	55.8%	34.5%
平成 23 年度	59.9%	32.7%
平成 24 年度	60.0%	31.9%
平成 25 年度	59.7%	34.1%
平成 26 年度	61.1%	34.1%

(平成 27 年 6 月 4 日 平成 27 年度 第 1 回 特別支援学校進路主事研修会資料より抜粋)

3) 高等部卒業生 就職者の職業別割合

年度	製造業・建設作業等	非製造業
平成 22 年度	46%	54%
平成 23 年度	42%	58%
平成 24 年度	52%	48%
平成 25 年度	44%	56%
平成 26 年度	46%	54%

4) 平成 26 年度卒業生 「働きたい! 応援団 ぎふ」 サポーター企業での雇用状況

平成 26 年度、「働きたい! 応援団 ぎふ」に登録いただいているサポーター企業 60 社に岐阜県下の高等部卒業生 69 人を雇用していただきました。詳しくは、岐阜県のホームページ「働きたい! 応援団 ぎふ」をご覧ください。本校のホームページの「働きたい! 応援団 ぎふ」からも入ることができます。

ご案内

高等部では、進路に関して下記の学習、説明会を行います。

希望される方は直接会場にお越しください。(スリッパをご持参ください。)

【第1回就業体験報告会】

- ・日 時：平成27年7月8日(水) 午前10時～11時40分 東体育館
- ・対 象：高等部全学年
- ・内 容：就業体験を行った高等部2年生、3年生が、自分が実際に経験した内容や感想、課題等を発表します。1年生は、先輩の話聞いて質問をし、2、3年生が答えます。
各学年とも、学校生活に必要なことや自分の課題に気付いて、日々意識して行動するように努め、今後の就業体験や進路に対する意識を高めるとともに、卒業後の進路選択に役立てていくことを目的に行います。

【職場体験説明会】

- ・日 時：第1回 平成27年7月8日(水) 12:00～12:15 (学部懇談会后) 東体育館
第2回 平成27年7月10日(金) 16:00～16:15 支援センター室
- ・対 象：高等部2年生、3年生の職場体験を希望する保護者のみ(必ず出席をお願いします。)
(昨年度、説明会に出席された高3保護者は参加の必要はございません。)
- ・内 容：職場体験の概要と手続きについての説明

外部販売会 岐阜県庁 合同販売会



今年度、岐阜県庁にて、特別支援学校合同の作業製品販売会が行われます。
本校は、下記の日程で作業製品販売をします。ぜひ、お越しください。

【日 時】平成27年7月7日(火) 午前11時～午後1時

【会 場】県庁1階(岐阜市藪田南2-1-1)

【参加学校】岐阜本巣特別支援学校、岐阜豊学校、揖斐特別支援学校の3校

【販売製品】メモ帳、一筆箋 はがきセット、ポーチ、ナフキンセット、コースター、クッキー、ミナモクッキー、玉ねぎ、夏野菜 等

【その他】・当日は、ミナモも来てくれます。

・7月10日(木)には、大垣特別支援学校、岐阜特別支援学校の2校の販売会があります。

お知らせ

◇新規事業所

- ・事業所名：エニシス株式会社
- ・所在地：瑞穂市稲里170-1 TEL 058-372-7711
- ・サービス内容：就労継続支援A型
- ・仕事内容：軽作業(食品の包装・化粧品の箱詰めなど)
- ・就労時間：4時間 午前10時～午後3時(休憩1時間)
- ・休 日：週休2日制
- ・対 象 者：障害者手帳をもっている方で、18歳から64歳までの方
- ・時 給：750円～
- ・そ の 他：障害者総合自立支援法に基づき、障がいをもつ人の雇用を通して、技術の向上および心身の健全化を図ります。